

第3回セミナーの御案内

- ◆日時：2010年12月20日（月）13：30－17：00
- ◆場所：名古屋大学VBLベンチャーホール（右図参照）
- ◆内容：広域・大規模水害対応（危機管理行動計画）

会場：名古屋大学VBLベンチャーホール
（名古屋大学駅3番出口から徒歩3分）

- (1) 「米国における危機管理行動計画とハリケーン災害」
田中 慎一郎 氏（(財)河川情報センター）
- (2) 「ハリケーン・カトリーナ5年後の復興状況」
中島 一好 氏（(社)中部建設協会）
- (3) 「TNT危機管理行動計画の概要と今後の展開」
河野 龍男 氏（国土交通省中部地方整備局）



- ◆申込方法：E-mail (d42882a@cc.nagoya-u.ac.jp) かFAX (052-789-3727) にて、件名に「水防災セミナー申込」と記載し、【氏名・所属先・連絡先（メールアドレス）】をお知らせ下さい。

開催趣旨説明

2009年4月に発足した水防災セミナーの2010年度の活動が開始されます。2010年はご承知のように東海豪雨から10年、すでにいくつかのシンポジウムなどの取り組みが実施されています。

こうした中で、本年度の「水防災セミナー」では、昨年度の「水防災研究の系統化」の議論を受けて、以下の5本の柱を設定しました。東海豪雨の課題であったはずの①都市型水害対策、流域委員会やダムを検証などで話題になっている②今後の治水対策のあり方、気候変動適応策やスーパー伊勢湾、TNT*1で話題を呼んでいる③広域大規模水害危機管理、④まちづくり(地域づくり)と地域防災力、名古屋にも設置されたXバンドMPLレーダの利用を含む⑤ゲリラ豪雨対策と気象観測・予測です。年度内にこれら5つをテーマに取り上げるセミナー開催を企画しています。

なお、これらのテーマに沿ってしっかり情報収集し、議論の論点を準備して、各セミナーを企画・運営するために、テーマ別勉強会(仮称)設置を考えています。研究者、技術者、行政の担当などからの精鋭による自主的な組織を、じっくり作り上げていく勉強会です。

名古屋大学大学院
辻本哲郎

*1:東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会

前回の内容

第2回 水防災セミナー

日時：2010年11月1日(月)13:30-17:00
場所：名城大学名駅サテライト多目的室

議題：今後の治水対策のあり方について

①話題提供

- 趣旨説明 辻本哲郎 教授(名古屋大学)
- 「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の解説
「今後の治水対策のあり方について 中間とりまとめ」の経緯
辻本 哲郎 教授(名古屋大学)
- 「今後の治水対策のあり方について 中間とりまとめ」の概説
高阪 加奈代 氏(パシフィックコンサルタンツ株式会社)

②総合討議

「今後の治水対策のあり方について」

参考HP：<http://chubusaigai.jp/seminar.htm>

連絡先

名古屋大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻流れ・地形解析学グループ
流域保全学グループ内 中部地区自然災害資料センター事務局

TEL:052-789-4628 FAX:052-789-3727

中部地区自然災害科学資料センターURL：
<http://www.chubusaigai.jp/index.htm>

